

# 【日の出入り・月の出入り表】

2026年 10月

提供：国立天文台

日	日の出 時：分	南中時 時：分：秒	高度 度	日の入り 時：分	月の出 時：分	月の入り 時：分	月齢 12:00	備 考
1	6:15	12:10:55	53.7	18:06	20:59	11:03	20.0	
2	6:16	12:10:35	53.3	18:05	21:59	12:12	21.0	金星が留※5
3	6:16	12:10:16	52.9	18:04	23:05	13:13	22.0	下弦
4	6:17	12:09:58	52.5	18:02	--:--	14:06	23.0	土星が衝※4
5	6:18	12:09:39	52.1	18:01	0:15	14:50	24.0	
6	6:18	12:09:21	51.7	18:00	1:25	15:28	25.0	
7	6:19	12:09:04	51.4	17:58	2:33	16:00	26.0	
8	6:20	12:08:47	51	17:57	3:39	16:29	27.0	寒露※1
9	6:21	12:08:30	50.6	17:56	4:42	16:57	28.0	
10	6:21	12:08:14	50.2	17:55	5:44	17:24	29.0	
11	6:22	12:07:58	49.8	17:53	6:46	17:53	0.5	新月
12	6:23	12:07:43	49.5	17:52	7:48	18:25	1.5	スポーツの日、水星が東方最大離角※6
13	6:24	12:07:28	49.1	17:51	8:49	19:00	2.5	
14	6:24	12:07:14	48.7	17:50	9:50	19:40	3.5	
15	6:25	12:07:00	48.3	17:48	10:48	20:26	4.5	
16	6:26	12:06:47	48.0	17:47	11:43	21:17	5.5	
17	6:27	12:06:34	47.6	17:46	12:31	22:12	6.5	
18	6:27	12:06:22	47.2	17:45	13:14	23:10	7.5	
19	6:28	12:06:11	46.9	17:44	13:51	--:--	8.5	上弦
20	6:29	12:06:00	46.5	17:43	14:24	0:09	9.5	土用の入り※2
21	6:30	12:05:50	46.2	17:41	14:53	1:09	10.5	
22	6:31	12:05:40	45.8	17:40	15:21	2:09	11.5	
23	6:31	12:05:31	45.5	17:39	15:48	3:09	12.5	霜降※3
24	6:32	12:05:23	45.1	17:38	16:16	4:11	13.5	水星が留※5、金星が内合※4
25	6:33	12:05:16	44.8	17:37	16:47	5:15	14.5	
26	6:34	12:05:09	44.4	17:36	17:22	6:23	15.5	満月
27	6:35	12:05:03	44.1	17:35	18:03	7:34	16.5	
28	6:36	12:04:57	43.7	17:34	18:52	8:47	17.5	
29	6:36	12:04:53	43.4	17:33	19:50	9:59	18.5	
30	6:37	12:04:49	43.1	17:32	20:56	11:05	19.5	
31	6:38	12:04:46	42.8	17:31	22:07	12:02	20.5	

\* 佐世保市(東経129.7156°, 北緯33.1800°)を基準に計算しています。出入り時刻は地平線での時刻とお考えください。

\* 月の出、月の入りが起こらない日があります。月齢は12時で計算しています。

※1 二十四節季の一つ 意味：秋が深まり、野草に冷たい露がむすぶ。

※2 土用：四立(立春・立夏・立秋・立冬)のおよそ18日前をいう。最終日が四立の前の日・節分になる。

※3 二十四節季の一つ 意味：霜が降りるころ。

※4 天体が地球からみて太陽の方向にあるのを「合」、反対方向にあるのを「衝」といいます。外惑星の場合は、「合」のとき地球から最も遠くなり「衝」の時最も近くなります。(最も大きく見えます) 内惑星(水星と金星)の場合は、太陽よりも遠い位置にある「外合」と、太陽より近い位置にある「内合」があります。

※5 惑星は、通常天球上の恒星の中を西から東へとゆっくり移動(順行)していくように見えますが、時に東から西へ移動(逆行)することがあります。その移動の方向が変わる瞬間を「留」と言います。その後、再び西から東へ移動するようになる瞬間にも「留」となります。

※6 最大離角は、地球から見た太陽と内惑星(水星、金星)との角距離が最大となる瞬間です。地球から見て内惑星が太陽の東側にあるときを東方最大離角(とうほうさいだいいりかく)、太陽の西側にあるときを西方最大離角(せいほうさいだいいりかく)といいます。東方最大離角のころは夕方西の空、西方最大離角のころは明け方東の空にあり、観望の好機となります。